

平成30年度社会福祉法人ゆめグループ福祉会 事業報告

1. 社会福祉法人ゆめグループ福祉会の基本理念

- 1) 障がいのある人々の権利を守り、その選択と自己決定を尊重します。
- 2) 障がいのある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつける支援を行います。障がいの有無を問わず、ともに交流し、ともに働き、ともにくらす場をつくります。
- 3) 障がいのある人たち・その家族・地域住民のねがいにもとづき、地域に根ざした、開かれた施設をつくり、地域の福祉の向上をめざします。

以上の理念に基づき、各種の事業に取り組んできました。

2. 事業運営

以下の第2種社会福祉事業の運営を実施した。

施設の事業実績と事業報告は別紙。

- 1) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)の運営：
ゆめ工房、ゆめ工房北砂、ふれあい工房、ドリーム第2、ドリーム第2分室リサイクル工房サラエ、ドリームクラブハウス
- 2) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業(多機能型：就労継続支援B型、生活介護)の運営：
ネットワークゆめ工房
- 3) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業(共同生活介助)運営：
ひだまり第3・ひだまり第4、いぶき寮、丸山ハイツ・東砂ハウス
- 4) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業(重度訪問介護、居宅介護、同行援護)、移動支援事業運営：地域交流支援センター
- 5) 第2種社会福祉事業 特定相談支援事業：
ゆめ相談支援事業所の運営

以下の公益事業の運営を実施しました。

- 1) 公益事業：
「江東区心身障害者生活寮」 ひだまり、ひだまり第2の運営

3. 平成30年度の取り組み

- 1) ドリーム第2分室・リサイクル工房サラエ（就労継続支援B型）の事業の再構成を図るために、本年度も、平成31年4月を目標に店舗型事業所を移転開設することに取り組んだが、賃貸物件で条件に見合う物件がなく、実現できなかった。
- 2) 就労継続支援B型、就労移行支援事業を含む多機能型の事業所の移築再編・改修・新設を伴う事業所の建設について、現在候補になっている対象予定敷地・物件を対象に改修基本計画を策定した。この計画は、重度の身体障害のある人たちを含むグループホームを含む計画としている。
現在物件の退去予定が延期になっており、その時期が未確定であるので、引き続き計画作りを進めていく。
- 3) 共同生活援助事業の安定化、充実化を図った。
グループホーム運営・支援のアドバイス・相談ができる会議として、グループホームのスタッフ会議を隔月実施し、研修も実施した。
- 4) 職員参加による研修の実施
定例研修会の実施：テーマ：初任者研修、職員研修2回
外部研修機会の拡大を図った。25回延べ27人。
- 5) 施設・設備の改善
既存建築物の環境整備を図った。
(ゆめ工房北砂：ベランダ・給湯機の改修ひだまり・ひだまり第2：火災報知機の設置、いぶき寮：防音性能の向上工事)
- 6) 地域連携の取り組みをつよめた。
ゆめ祭りを実施し300名以上の参加があった。
地域行事への参加・協力、近隣清掃、赤い羽根共同募金の取り組みを実施した。
ボランティア活動の導入：行事においてボランティアに積極的に参加してもらった。
- 7) 法人組織体制の強化を図る
理事長・施設長・副施設長・主任・職員体制の整備を図り、施設長会議

主任会議、職員会議の定着化・充実化をはかった。
イベント・行事別実行委員会を利用者とともに結成し、実施した。

8) 以下の行事に全体で、取り組み実施した。

- 4月 入所式 ゆめグループ全体会
- 5月 メーデー参加
- 6月 ゆめグループ宿泊訓練
障害者スポーツ大会参加
- 7月 七時雨のつどい（有志）
- 8月 プール（江東、墨東特別支援学校）
- 9月 きょうされん全国大会に代表参加
- 10月 ゆめまつり
江東区民まつり、墨東特別支援学校あきまつり、
- 12月 ゆめグループ望年会、江東区障害者福祉大会
- 1月 成人・還暦祝い、餅つき
- 2月 江東区障害者作品展
- 3月 ゆめグループ全体会

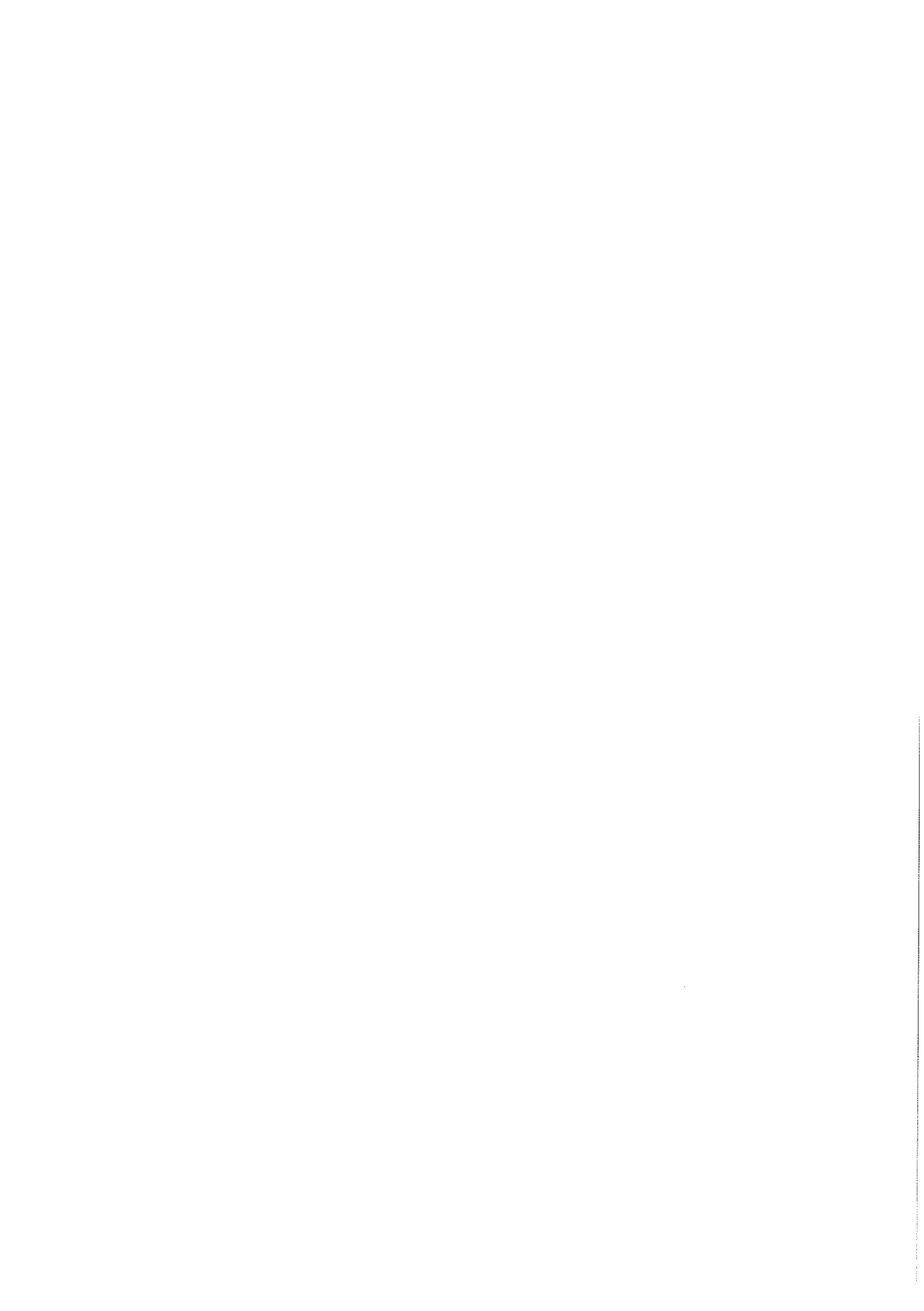
4. 理事会・評議員会の開催

1) 理事会

- 第1回理事会 平成30年6月1日
業務執行報告、平成29年度事業報告、平成29年度決算、定時評議員会の招集事項の決定、監事監査報告
- 第2回理事会 平成31年1月25日
業務執行報告、ゆめグループ北砂1丁目施設再編改修計画
丸山ハイツ改修計画
- 第3回理事会 平成31年3月22日
業務執行報告、平成31年度事業計画、平成31年度予算
施設長（管理者）の承認、定時評議員会の招集事項の決定

2) 評議員会

- 第1回評議員会 平成30年6月11日
平成29年度事業報告、平成29年度決算、監事監査報告
- 第2回評議員会 平成31年3月29日
2019年度事業計画、2019年度予算



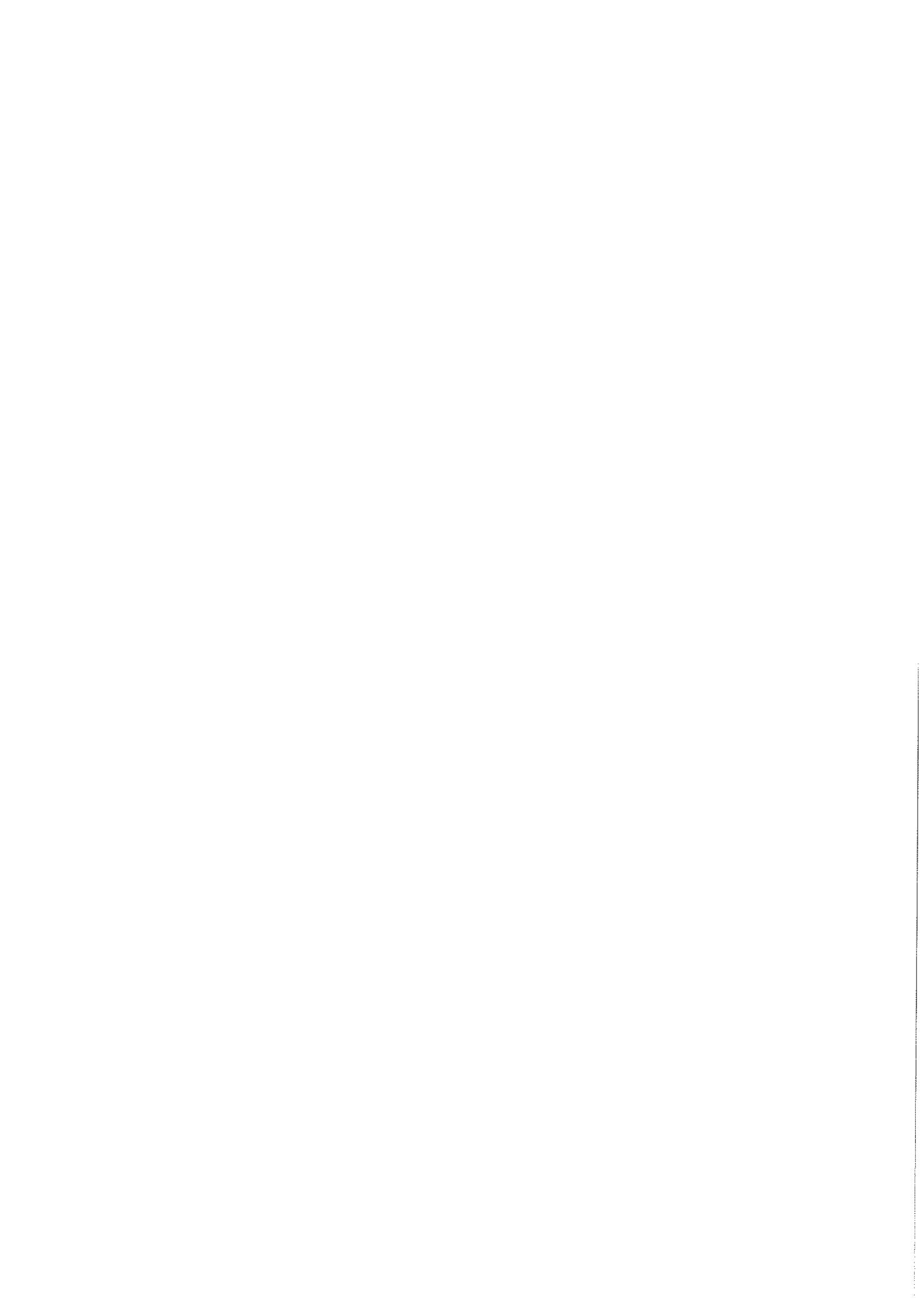
平成 30 年度事業報告

ゆめ工房

事業所名	ゆめ工房
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂 1-14-4 1 階
管理者	岡田 芳久
事業の目的	<p>障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援をおこなう。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p> <p>文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるように支援する</p> <p>集団を基礎とした人間関係を中心に置き作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●「はなすこと」を活動の基礎に置く、適切な声・主語をはっきり・聞くと話すのキャッチボール ●受け身ではないやりたい気持ちを育てる支援 ●やれることはやろうという気持ちを作る支援 ●注意するときはやさしく→ほぼ達成 ●ケンカを減らそうという目標はかなり達成できた <p>作業(労働)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全体として作業効率を開けるための席替えなどを行い、ミスの現象とスピードアップを達成。 ② ダイレクトメール発送作業（タックシール貼り、封入など） ③ パソコン（名刺作成など）の人材育成、パソコン教室 ④ 下請け作業(部品はめ込み、コピー用紙袋詰め) ⑤ 準備から後片付けまで作業をひとりでこなせる人を育成する→数人 ⑥ 口腔衛生商品販売の拡大（児童分野） ⑦ 自主製品の作成（コーヒーがら消臭剤）新規製品試作できなかった（紙漉き応用商品） ⑧ むしばんの移動販売再開定期化、新製品開発（季節特別メニュー）→目標達成できず。 <p>日課</p> <ol style="list-style-type: none"> ① バランスのとれた昼食への切り替え ② 障がいに応じた一口食など形態の工夫、はさみだけ ③ 歩く活動を意識的に取り入れる 納品など自転車で ④ 昼休み後のストレッチ スクワット <p>文化的活動</p>

	<p>① 創作活動(月1回) 美術作品の制作、ギャラリー展示会、パラリンピックアート</p> <p>② 作品展への出展(きょうされん作品展入賞・江東区作品展)</p> <p>③ 東京都障害者スポーツ大会への参加支援</p> <p>④ 軽音楽、陶芸教室など課外活動</p> <p>自治活動</p> <p>① リーダー会議</p> <p>② メンバー自治会の組織</p> <p>③ 「何でもやろうかい」の立案・実施 利用者中心での企画</p> <p>④ 各種行事実行委員会</p> <p>⑤ 帰りの会のひとこと</p> <p>その他</p> <p>① 宿泊訓練 長野県白樺湖池の平(1泊2日)または自然体験訓練(岩手県)</p> <p>② 希望者には送迎を実施する</p> <p>③ 給食は実施しない(仕出し弁当を斡旋する)</p> <p>④ 利用者アンケートの実施</p> <p>⑤ 地域から講師を招き、利用者向けパソコン教室実施</p> <p>⑥ 高齢化への対応、各介護保険事業者との連携、</p> <p>⑦ 障害についての学習会実施→できなかった</p>
健康管理	<p>① 年1回の健康診断を実施する(保健所で実施)</p> <p>② 手洗い、うがいなどの励行 インフルエンザ予防に一定の効果</p> <p>③ 誤嚥防止の支援</p> <p>④ 体重、血圧定期測定の支援</p>
年間計画	<p>4月 入所式 ゆめグループ全体会</p> <p>5月 メーデー</p> <p>6月 宿泊訓練</p> <p>8月 プール(江東、墨東特別支援学校)、夏休み、ゆめのつどい</p> <p>9月 きょうされん全国大会</p> <p>10月 ゆめまつり</p> <p>12月 江東区障害者福祉大会 望年会</p> <p>1月 江東区障害者作品展</p> <p>2月 成人・還暦祝い、餅つき(インフルエンザにより延期)</p> <p>3月 ゆめグループ総括会議</p> <p>外出訓練を年2回実施する。(通称何でもやろう会)</p> <p>外出できず代わりに蒸しパン試作会</p> <p>消火・防災訓練年2回実施</p> <p>ゆめグループの地域開放事業実施ゆめまつり</p>

その他	<p>利用者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 給料と評価基準の明確化を利用者が理解できる形で進める。目標を持つ人の工賃面での評価 ② 利用者・職員に対するアンケートの実施→外出への要望 ③ 利用者・職員に対する経営状態の公開→訓練費の話、工賃の話 ④ 相互の障害の理解のための学習会など実施→できなかった ⑤ 就労希望者には情報提供と実践力を培う練習との両面で就労支援を行う。 ⑥ 新規利用者獲得→新規利用者定着 ⑦ 利用者、職員の雑談力をつける ⑧ 新規利用者の定着に向けて一部利用者の重点担当制を作る ⑨ 一週間の見通しを持てるように支援する（週間予定表など） ⑩ その日の予定の打ち合わせ <p>職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑪ 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行う。3月に実施 ⑫ セルフプランなどによるサービス等利用計画への対応、特定計画相談支援事業所との連携介護保険ケアマネ、権利擁護など実施 ⑬ 職員の指導力を高めるための研修を実施する。（自閉症スペクトラム、高次脳社会行動障害） ⑭ 職員との個別面談 ⑮ 作業内容の絞り込みなどにより職員がイベント担当などを効率的に進めることができるよう配慮した <p>環境</p> <p>環境整備を進める。整理整頓。パーテイションの活用による集中できる環境づくり。</p> <p>管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢障害者中心の事業所か多年齢の事業所か将来の方向を考える。押しつけの地域包括支援ではない専門家ネットワークつくりに向けて方向を考える。介護保険とのネットワークを使った支援を実施した→一定の成果 ② 職員の仕事マニュアルつくり→できず ③ 作業所の中期計画案つくり→できず ④ 就労中、在宅など元利用者などのアフターケア 年限をこえて実施中。 ⑤ 利用者急死、当日利用帰宅後外出先で
-----	--



平成30年度事業報告

ゆめ工房北砂

事業所名	ゆめ工房北砂	
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会	
事業の種類	就労継続支援 B型	
所在地	東京都江東区北砂一丁目14番4 2F	
管理者	安部 慎太郎	
事業の目的	<p>平成30年度目標 「楽しいゆめ工房北砂を作ろう！」 相手を思いやり、いっぱい会話をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人たちの生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるよう、適切な支援を行う。 ・文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する。 ・集団を基礎とした人間関係を中心に置き、作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。 ・他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。 	
事業内容	作業（労働）	<p>下請け発送班と食品班の2班に分かれて活動した。</p> <p>○収入 3,920,022円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下請け作業 2,028,170円 定期的な仕事と期待していたリーフレットにホチキス2点留めの作業 1ヶ月 60,000件 @1.5円 ⇒ 900,000円の仕事が途切れた。想定より、印刷会社からの仕事が入り収入アップした。工賃確保のため、食品班と共に作業に取り組む場面もつくった。 ・自主製品（エコクラフト）127,206円 KURUMIRUでの販売が主。利用者が製作工程の全てを担うのはなかなか難しかった。年度内でグループ内で引き継ぐ事業所がないか相談した。現在は、指導を強化し利用者が担う工程が増えている。 ・自主製品（菓子）1,764,646円 販売の仕事を「呼び込み」「商品を袋に入れる」「会計」の3部門に分け、利用者1人1人が出来る仕事を増やした。販路は砂町銀座商店街・西大島駅前での売り歩き・江東区社協主催のまごころ市など。売

	<p>上目標であった 2,200,000 円には届かなかった。</p> <p>○支出 3,601,597 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者工賃 2,321,090 円 <p>平均工賃 8,059 円／1ヶ月</p> <p>(昨年度 5,980 円) 2,079 円アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料費 831,142 円 せんべい生地、サツマイモ、エコクラフト ・経費 449,365 円 レジ袋、宣伝旗、ラベルシール、水道光熱費 120,000 円 <p>※本人の希望を基に、2班に分かれて活動した</p> <p>※毎月「評価会」を行い孤立せずに他者と連携を図るようにした</p> <p>※工賃は ABC の 3 段階評価</p>
日課	<ul style="list-style-type: none"> ① 出勤簿に印を押す ② 体操・ストレッチ・スクワット ③ 掃除 ④ 朝の会（今日やることの確認・共有、連絡事項） ⑤ 昼休み（昼食・歯磨き） ⑥ 午後の確認（午前やったことの確認、午後やることの確認） ⑦ 帰りの会（今日やったことの確認・共有、連絡事項） ⑧ 三役会議（各班のリーダー・サブリーダー・会計で出勤簿の確認、業務日誌をつける、明日の予定について）
文化的活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 創作活動（月 1 回） 美術作品の制作 ② 作品展への出展（きょうされんグッズデザインコンクール ⇒ 1 名入選、かかしコンクール ⇒ 5 体 出展して区長賞を含め全て賞を頂いた、障害者作品展、など） ③ スポーツ系のレクリエーション ⇒ ボウリング大会の実施 ④ 東京都障害者スポーツ大会への参加（希望者） ⑤ 手話教室（希望者） ⑥ 軽音サークル（希望者） ⇒ 9 名参加 ⑦ 学習会（障害者福祉関連・文字の読み書きなど）

自治活動	<p>① リーダー会議 ② メンバー自治会の組織⇒ゆめグループ利用者組合 役員2名 ③ 「なんでもやろうかい」の立案・実施 ④ 各種行事実行委員会</p>																
その他	<p>① 宿泊研修 6月長野県白樺湖（1泊2日）か8月岩手県七時雨（2泊3日）を選択する⇒6月長野県18名、8月岩手県2名、不参加4名 ② 避難訓練（2回） ③ 希望者には送迎を実施する ④ 給食は実施しない。個人の身体・収入に合ったものを自分で選択することを目指す。買い物支援・仕出し弁当を斡旋する。</p>																
健 康 管 理	<p>① 年1回の健康診断を実施する 利用者は保健相談所、職員は診療所と契約 ② 手洗い・うがいの励行 ③ ダイエットサークル（有志）毎日、体重を量り記録をつけ意識を高める ④ 必要に応じて通院同行や食事の補助などをする ⇒2月に3日間インフルエンザ蔓延予防として臨時休業した</p>																
年 間 計 画	<table border="0"> <tr> <td>4月</td> <td>・入所式・ゆめグループ全体会（事業計画）</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>・メーデー</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>・障害者スポーツ大会参加（有志） ・宿泊研修（1泊2日） 長野県白樺湖 6/7（木）～6/8（金）</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>・江東特別支援学校夏まつり</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>・宿泊研修 七時雨（2泊3日）8/23（木）～8/25（土）</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>・プール（江東・墨東特別支援学校借用） ・きょうされん全国大会@京都 9/21（金）9/22（土） ⇒利用者1名参加</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>2泊3日の予定</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>・ゆめまつり ・江東区民まつり ・江東区障害者福祉大会</td> </tr> </table>	4月	・入所式・ゆめグループ全体会（事業計画）	5月	・メーデー	6月	・障害者スポーツ大会参加（有志） ・宿泊研修（1泊2日） 長野県白樺湖 6/7（木）～6/8（金）	7月	・江東特別支援学校夏まつり	8月	・宿泊研修 七時雨（2泊3日）8/23（木）～8/25（土）	9月	・プール（江東・墨東特別支援学校借用） ・きょうされん全国大会@京都 9/21（金）9/22（土） ⇒利用者1名参加	10月	2泊3日の予定	12月	・ゆめまつり ・江東区民まつり ・江東区障害者福祉大会
4月	・入所式・ゆめグループ全体会（事業計画）																
5月	・メーデー																
6月	・障害者スポーツ大会参加（有志） ・宿泊研修（1泊2日） 長野県白樺湖 6/7（木）～6/8（金）																
7月	・江東特別支援学校夏まつり																
8月	・宿泊研修 七時雨（2泊3日）8/23（木）～8/25（土）																
9月	・プール（江東・墨東特別支援学校借用） ・きょうされん全国大会@京都 9/21（金）9/22（土） ⇒利用者1名参加																
10月	2泊3日の予定																
12月	・ゆめまつり ・江東区民まつり ・江東区障害者福祉大会																

	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・望年会 ・成人・還暦祝い&餅つき⇒インフルエンザ・蔓延予防のため2月に実施 ・江東区障害者作品展
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆめグループ全体会（総括会議）
その他	<p>① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行う。</p> <p>② 職員の指導力を高めるための研修を実施する。また、外部の研修にも積極的に参加を促す。</p> <p>③ 利用者・職員に対するアンケートの実施</p> <p>④ 利用者・職員に対する経営状態の公開</p> <p>⑤ 相互の障害の理解のための語る会など実施</p> <p>⑥ 就労希望者には、情報提供や履歴書の書き方、面接に同行するなどの支援を行う。</p>	

事業所名	ネットワークゆめ工房
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会
事業の種類・定員 (契約者数30／4／1)	生活介護10名、就労継続支援B型10名 生活介護12名。就労B10名(*30年度末 生活10名、就労10名)
所在地	江東区北砂1-17-4稻見北砂ハイツ1階
管理者	柳 春夫
事業の目的	障がいのある人たちが生きがいある生活を送れるよう支援する。 労働の場を提供し、更には地域の人々と交流し共生する場を実現できるよう努力する。 他の支援機関と協力し一般就労実現のため支援する。 文化活動やスポーツ活動など多様な取り組みを行い、利用者の力を充分發揮できるよう支援する。 生活リズムを大切にし、障がいと付き合いながら、健康を維持・増進するための取り組みを進める
事業内容	作業(労働) ①軽作業(下請け作業) (売り上げ) 紐通し・結び 入浴剤封入 ゆめニュース発送 売上 197,178円(29年度 127,757円) ②自主製品の製造販売 陶芸 ポストカード(年賀状を含む) 売上 456,512円(29年度 333,461円) ③アルミ缶リサイクル 売上 247,417円(29年度 206,998円) 回収量 2782.3kg(29年度 2428.1kg) <u>売上総額 901,107円 (29年度 668,216円)</u>
売り上げ大きく増加 ・自主製品、特に、陶芸、年賀状、新製品ワニブルが大きく伸びた。+15万円 ・下請も4万円増加(バスソルトが貢献) ・アルリサイクル、回収量は過去最高(2,782kg)+4万円	
工賃、大幅アップ ・売り上げアップを受けて年度末にボーナスを支給した。これによって平均工賃を1000円程度上げることができた。	
出席状況は(昨年度) 生活介護 71.2% (62.9) 就労B 60.4% (52.0) 全体 66.3% (58.1)	(支払い工賃) 生活介護 2,715円/月(29年度 1,525円) 就労B型 2,628円/月(29年度 1,720円) 全 体 2,674円/月(29年度 1,606円) <u>工賃総額 615,730円 (29年度 387,260円)</u> <u>販売原価支出 848,857円 (29年度 607,857円)</u>

・改善の理由は、長期欠席者の退所によるところが大きい。現在長期欠席者1名

*区障害者作品展に1名入選。

*軽音楽クラブに3名参加

文化活動	<p>①創作活動 絵画(多様な画材)、パソコンによる作画、陶芸 *創作教室(月一回。専門講師が指導)</p> <p>②作品展への参加 きょうされんコンクール、江東区障害者作品展</p> <p>⑤クラブ活動 軽音楽クラブ、陶芸教室</p> <p>自治活動</p> <p>①メンバー自治会への参加</p> <p>②「何でもやろう会」(3月に一回)の企画・実施</p> <p>その他</p> <p>①宿泊研修・訓練(2泊3日)</p> <p>②希望者への送迎の実施</p> <p>③給食は実施しない。(仕出し弁当を斡旋する)</p>
------	---

健康管理

年一回の健康診断を1月実施。(保健所)
*利用者のみ 職員は協会健保の健診を実施
看護師による血圧測定実施。(希望者)
嘱託医と活用を強める必要がある。(31年度は月一回来所実施)
畳エリアを利用しての休養をとる利用者増加している。

年間行事活動

- 4月 入所式
ゆめグループ全体会(年間計画)
- 5月 障害者メーデー
- 6月 宿泊研修①(白樺湖)
- 7月 学校開放プール(墨東特別支援学校)
- 8月 なんでもやろう会(スカイツリー)
学校開放プール(江東特別支援学校)
研修旅行②(七時雨ゆめのつどい)
- 9月 きょうされん全国大会(ネットワークから1名参加)
- 10月 ゆめまつり
地域と障害者の秋祭り(墨東特別支援学校)
- 12月 江東区福祉大会(有志)
なんでもやろう会(調理実習)
望年会
- 2月 成人・還暦の会(1月、インフルエンザ流行で2月に延期)
- 3月 なんでもやろう会(ふれあい、ドリ2・サラエ訪問)
ゆめグループ全体会(年間の反省)

<p>骨折事故について</p>	<p>経過 6月15日(金)10時30分頃、朝の会初めの体操(ストレッチ)の伸脚の際、T指導員(主任)が利用者Kさん(車いす利用者)の右足を膝で曲げ内転筋・大臀筋を伸ばした時、右大腿骨を骨折してしまった。救急車を呼びH病院に搬送、検査し骨折を確認し入院した。19日手術、その後入院加療し、7月11日にKリハビリ病院に転院しリハビリに専念する。10月3日退院、H病院に通院加療している。通院は当初月一回だったが現在は2ヶ月1回になった。治療は骨折部分への超音波の照射と立位による足への負荷を行っている。経過は比較的良好のようだが、家庭での入浴は難しい。事故以前はネットワーク週2回、他の事業所(入浴、リハビリの体制のある)3回の通所であったが、ネットは週一回になった。通院はしばらく継続することになる。</p> <p>事故後の対応 家族(母親)に直ちに連絡し謝罪と病院への来所を願った。手術への立ち会いなど連日、病院へ来ていただいた。また、法人として謝罪を理事長、ネットワーク管理者、T指導員でご両親に行つた。家族との関係は良好に進んでいると思う。週一回の通所は欠席なし、また、6月の研修旅行にも参加の予定でいる。都、区(江東と墨田)には当日電話で伝え、19日に所定の事故報告書を送付した。</p> <p>事故の原因 T指導員は重度の身体障害者支援の経験者(グループホーム指導員)でネットワークでも3年の経験を有している。30年3月に介護福祉士の国家資格も取得している。しかし、リハビリや重症者の身体状況について専門の研修を受けたわけではなく、いわばリハビリについては素人と言える。そういう状況で自己の判断で身体への働きかけをしたことが事故の直接の原因と言える。善意であっても自己判断での取り組みは厳に慎まなければならない。また、ネットワークゆめ工房がリハビリの専門職員を配置できていないことが事故の起こした背景にあることを痛感する。そして、何よりも日常の介助・支援・活動の中で、安全・安心第一でとりくみたい。</p> <p>法人・ネットワークの取り組み 事故後18日臨時の所長会議を持ち、経過、原因、今後について検討・確認した。所長会議を受け、25日に職員会議で協議を事故の重大さ等を全員で確認した。7月31日、重度の身体障害者の身体、特に骨の特徴、介助にあたっての注意点等を学習するためにネットワーク職員を中心に研修会を行つた。</p> <p>現状と課題 Kさんの治療は継続しており事故の最終的な「処理」は終わっていない。保険会社は治療終了・後遺症の認定、慰謝料等の確定、和解を考えているようだ。我々としては急ぐことなく円満な解決にたどり着きたい。金銭に関しては保険会社から医療費は支払われているが「差額ベット代」(100万円を超える)は支払われていない。今後、大きな問題になる可能性もある。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 個別支援計画の作成はほぼ全員年2回作ることができた。長期入院者1名と家庭事情を配慮した1名は1回しか作成できず。 モリタリングの実施時期と記録に工夫が求められる。 ② 職員の研修は各人が選択したものと希望に沿って実施したほか、法人全体で実施した。また、骨折事故を受けてネット独自で身体介助について実施した。 ③ 施設の改修等では予定していた台所レンジは出来ず、破損個所の修理にとどまった。 ④ 29年度末で2名退所したが30年度途中で3名が退所した。全員生活介護利用者だった。(特養入所1、転居1、24時間介護利用のため1)

ドリームクラブハウス 平成30年度事業報告

事業所名	ドリームクラブハウス
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂1-15-8
管理者	藤森 幹朗
事業の目的	<p>障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力を つけられるように、適切な支援を行う。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p> <p>文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をお くれるように支援する</p> <p>集団を基礎とした人間関係を中心に置き作業を通じて社会で生 きていく力の獲得を目指す。生活のリズムを大切にしながら、 病気と付き合い地域生活を送ることができよう支援する。</p>
事業の内容	<p>作業(労働)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 軽作業 ネジの箱詰、発送、マグネット ② 自主製品の作成 コースター、革製品 ③ 区、地域、社会福祉協議会で行われるイベントでの 販売活動を積極的に進める。 <p>日課</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1時間ごとに休憩時間を入れる <p>文化的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 創作活動(月1回) 美術作品の制作 かかしコンクール、ギャラリー展示 展覧会見学 ② 作品展への出展(きょうされん作品展・江東区作品展) <p>自治活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① リーダー会議 ② メンバー自治会の準備会 リーダー選挙、朝の会 ③ 「何でもやろうかい」の立案・実施 映画教室、料理教室な ど ④ 各種行事実行委員会 ⑤ 話し合いのスキルアップ、ルールの明確化

	<p>その他</p> <p>① 宿泊訓練(1泊2日) ② ゆめの集い 岩手県八幡平市2泊3日</p>
健康管理	年1回の健康診断を実施（保健所で実施）11月
年間行事	<p>4月 入所式 ゆめグループ全体会 新職員歓迎会 龜戸天神</p> <p>5月 メーデー 東京都美術館 ソーシャルアートフレンズ展</p> <p>6月 かめ亀カーニバル 花咲デモ ゆめグループ宿泊研修旅行 都立大江戸高校実習 順天堂大学看護学部学生2名実習 都精神障害者バレーボール大会 販売会のみの参加</p> <p>7月 はね亀まつり 順天堂大学看護学部 実習</p> <p>8月 女性利用者自宅で倒れ逝去 享年66歳 斎場でお別れ会 ゆめの集い 岩手県八幡平市 2泊3日研修旅行</p> <p>9月 かかしコンクール</p> <p>10月 ゆめまつり 所内を開放して喫茶室 区民まつり 木場公園</p> <p>11月 大江戸高校文化祭 自主製品販売 江東特別支援学校実習生（2年生）実習 健康診断（城東南部保健相談所）</p> <p>12月 江東区障害者福祉大会 望年会 男性利用者自宅近くで倒れ逝去 享年61歳</p> <p>1月 江東区障害者作品展 12月に亡くなられた利用者のしのぶ会。</p> <p>2月 首都医校 精神保健福祉実習 フラッグ展見学 銀座1丁目ギャラリー 障害者作品展。 成人祝い 餅つき大会</p>

	<p>日立ソリューション販売</p> <p>男性利用者 通院先のクリニックに行く途中で倒れ 逝去 享年71歳</p> <p>なんでもやろう会 カラオケパーティー</p> <p>3月 ソーシャルアートフレンズ展</p> <p>ゆめグループ総括会議、 避難訓練 一時避難所（北砂小学校）</p>
その他	<p>① 職員の指導力を高めるための研修を実施した。</p> <p>② 欠席者への電話連絡、長期欠席者への訪問を行った。</p> <p>③ 個別支援計画のための面談</p> <p>④ 行政手続きの支援</p> <p>⑤ 地域での社会参加、（自治会役員、カルチャー教室入会など）の支援。</p> <p>⑥ 利用者の工賃期末賞与の算定を変更した。販売参加などを加算</p>
課題	<p>生活</p> <p>① 精神疾患以外の疾病的管理と健康維持。</p> <p>② 利用者の高齢化にともなう、設備、環境の改善。</p> <p>③ 単身の高齢利用者の日中活動時間以外（夜間、土日休日等）の緊急時の対応をどうするか。</p> <p>④ 関係機関とのネットワーク再構築と強化。</p> <p>⑤ 長期欠席者に対する支援、ニーズ調査。</p> <p>⑥ 単身で生活している利用者の支援（健康管理、食生活など）を関係機関と協力しながら重視する。</p> <p>作業</p> <p>⑦ 誰もが革製品つくりに参加出来るようにする。</p> <p>⑧ 自主製品販売場所および販路の拡大。特に常設できる販売場所の開拓。</p> <p>⑨ 工賃支給基準の見直し</p> <p>その他</p> <p>⑩ 利用者減少、利用率の低下に伴い 利用者募集を関係機関等に周知させる。</p>

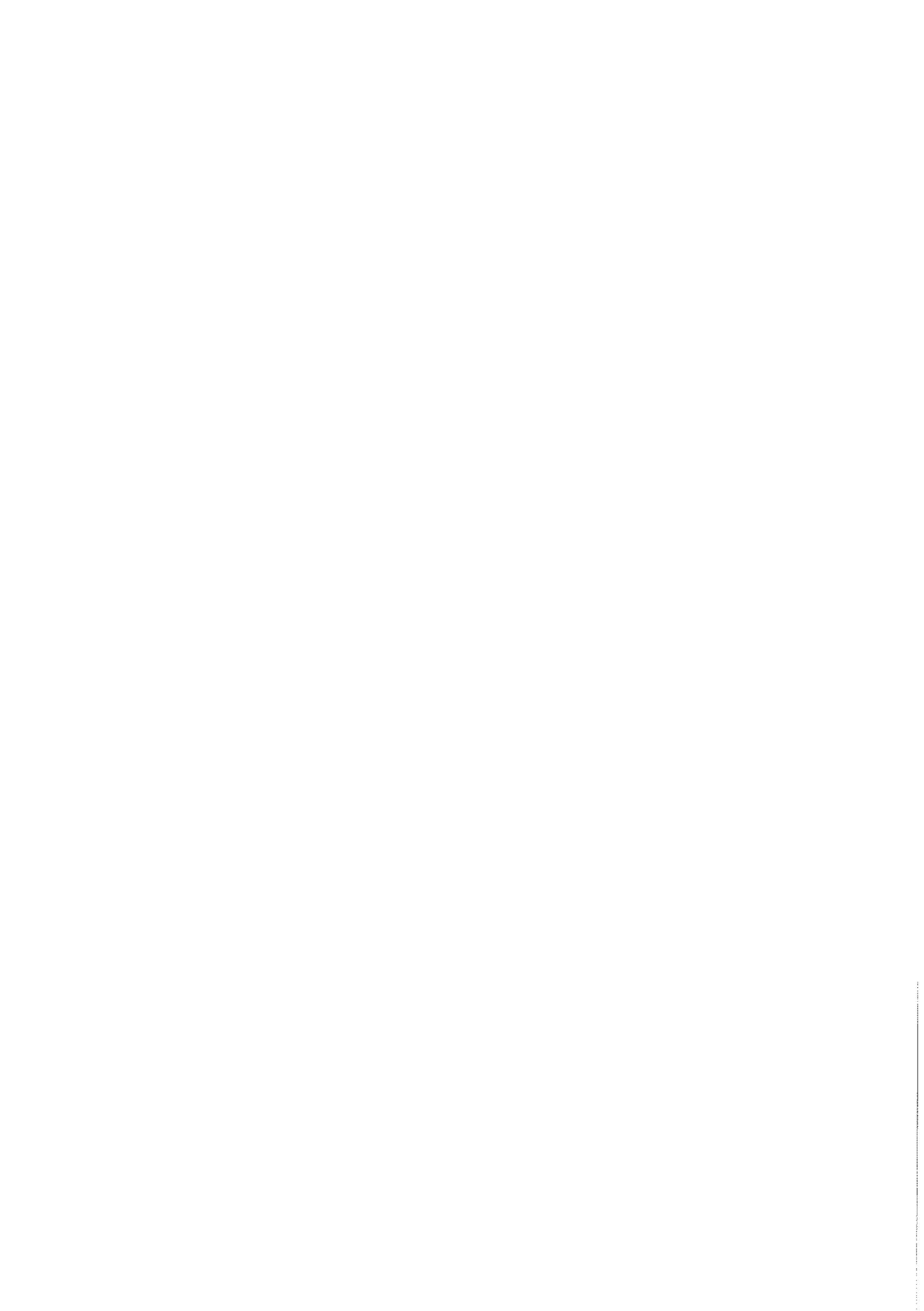
平成30年度事業報告

ふれあい工房

事業所名	ふれあい工房	
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会	
事業の種類	就労継続支援B型 定員20名 現員22名 身体：6名 知的：11名 精神：5名 男性10名 女性12名 平均年齢38.2歳	
所在地	東京都江東区千石2-2-5	
管理者	中村 幸江	
職員体制	主任：裏方班担当 緑川 亮介 喫茶班担当 関家 悠史 店舗班担当 高橋 幸子 ベーカリー 姜 恩慶 ベーカリー(パート) 中村 英理子 ベーカリー(パート) 石川 千里 送迎担当 宇田川 繁	
事業の目的	店舗を通して、生産者と地域のお客様との仲立ちを、障害のある人たちがすることで、生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるように支援を行う。 文化活動・創作活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する。 他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。	
事業内容	作業(労働)	① 産直野菜の仕入れ(岩手、千葉)・販売 ② 天然酵母パンの製造・販売 パン製造希望者でシフトを決めて担当した。 ③ 焼き菓子等の製造・販売 焼き菓子製造を増やした。「野菜クッキー」「パウンドケーキ」は売れ行きも好調で、「るーくる」での過去最高売上につながった。 ④ カフェコーナーでのランチ・ドリンク提供 試作を重ねた新商品「ガパオライス」が好評で、売上が上がった。 ⑤ 外部販売 新規企業にはつながれなかつたが、保健相談所販売先が2ヵ所から4ヵ所に増えた。 社協、ダイエー、トヨーカネツ、朝日航洋、N E C、ゆめグループ事業所で販売した。

	<p>⑥ 体に優しい食品、雑貨等の販売</p> <p>⑦ 食品の下請け作業 インドから輸入したドライフルーツ「アムラ」の袋詰め（不定期）</p> <p>⑧ 復興支援活動 9月 「おむすびの会」20名参加 3月 「味噌づくり」30名参加 両日とも地域の方が参加（福島県南会津の方に講師を依頼した）</p> <p>⑨ 店舗をコミュニティースペースとして活用する 造形教室、他団体の打合せ、勉強会などで使用した。</p>
日課	<p>① 毎朝、接客基本用語、身だしなみチェック ② ラジオ体操 ③ 昼食後の歯磨きを徹底 ④ 毎日の清掃以外に、場所ごとを集中掃除をした</p>
文化的活動	<p>① 創作活動（月1回） かかしコンクールに参加 2体作成した（1体リベンジ賞受賞） フラッグ制作＆フラッグ展（銀座）見学</p> <p>② 作品展への出展（きょうされんグッズデザインコンクール、障害者作品展）</p>
自治活動	<p>① リーダー会議 ② 自治会（仲間の会）の活動 ③ 「何でもやろう会」の立案・実施3回 ④ 各行事実行委員会</p>
その他	<p>① 宿泊訓練 ② 希望者には送迎を実施する ③ 仕出し弁当・不定期で土曜日賄い食を提供 ④ 第1第3土曜日を開所する。 (当該週の水曜日は休みとする)</p>
健 康 管 理	<p>11月 城東保険相談所にて、健康診断を受けた。 毎月、「運動の日」を計画した。 スポーツ会館等を利用し、毎回何をやりたいか相談して行った。 区のパラリンピック助成事業を利用して購入した「ボッチャ」が人気で、取り組む回数が増えた。 3月の「スポーツフェスタこうとう」のボッチャ大会に2チーム参加し、1チームが優勝した。</p>

年間行事	4月	入所式 ゆめグループ全体会
	5月	メーデー なんでもやろう会（錦糸町タイラント）新商品開発のため
	6月	研修旅行 白樺湖
	7月	プール（墨東特別支援学校） なんでもやろう会（冷製パスタバトル）新商品開発のため
	8月	暑気払い「牛太」しゃぶしゃぶ・すき焼き食べ放題 七時雨 ゆめのつどい（有志）
	9月	復興支援イベント「おむすびの会」 避難訓練（火事）
	10月	ゆめまつり きょうされん全国大会 in 京都（代表参加） 墨東あきまつり 江東区民まつり
	12月	江東区障害者福祉大会 望年会 お疲れさん会「亀戸スタミナ太郎」焼肉食べ放題
	1月	初詣「富岡八幡宮」
	2月	成人御祝&餅つき 江東区障害者作品展
	3月	なんでもやろう会（豊洲市場） ゆめグループ総括会議 復興支援イベント「みそ作り」 避難訓練（地震）
	その他	
	① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との面談を行った。	
	② 職員の支援力を高めるための研修会に参加した。	
	③ 利用者の希望に沿って担当を決め、責任感、作業意欲が向上できるように支援した。	
	④ 給料と評価基準を明確化し、利用者が理解できる形で進めた。 夏 5,000 円、冬 10,000 円年度末手当 10,000 円を工賃対象者全員に出した。30 年度の平均工賃が 10100 円になった。	
	⑤ 利用者・職員に対するアンケートの実施した	
	⑥ 利用者・職員に対し、経営状態を公開した	
	⑦ 就職希望者には、求人情報を提供した。	



平成30度事業報告
本館ドリーム第2 分室リサイクル工房サラエ

事業所名	本館 ドリーム第2 分室 リサイクル工房サラエ
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援 B型
所在地	本館 ドリーム第2 東京都江東区東砂 6-20-7 1F 分室 リサイクル工房サラエ 東京都江東区東砂 5-16-3-101
管理者	田中 直樹(サービス管理責任者 兼務)
主任	本館：才野 結子 分室：仲前 幸枝
利用者	本館ドリーム第2 平成30年度 利用開始者 男性 1名 女性2名 平成30年度 利用終了者 男性 0名 女性1名 2019年3月31日現在 男性19名 女性9名 <u>計28名在籍</u> 分室リサイクル工房サラエ 平成30年度 利用開始者 男性3名 女性 1名 平成30年度 利用終了者 男性1名 女性 1名 2019年3月31日現在 男性9名 女性 4名 <u>計13名在籍</u>
事業の目的	<p style="text-align: center;">基本方針</p> <p>1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していくか れるようにする。 3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし活き活きとした毎日が過ご せるようにする。 4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。 5. 他の支援機関と協力して一般就労に向けて支援する。</p> <p style="text-align: center;">支援方針</p> <p>1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 (1) 見通しや責任感を育てる役割、係の設定。 (2) 自助具の開発、改善により、生産数のアップ、技術向上、達成感の 会得を図る。 (3) 生産目標、財政目標を立て定期的にわかりやすく作業をふりかえり、 今後の見通しをもつ。 (4) 安定した作業と、少し難易度の高い工程への組み合いで意欲を育 てる。 (5) 給料増額にむけて仕事開拓のための営業活動や自主製品開発を行 う。</p> <p>2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していくか れるようにする。</p>

		<p>(1) リーダー会の一層の充実をはかる。</p> <p>(2) おたがいのがんばりや成長を気付き合い評価し合える場面を作っていく。</p> <p>3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし活き活きとした毎日が過ごせるようにする。</p> <p>(1) 作業の様子、作業以外での様子を職員が共有、力を発揮できる場面を意識的に作る。</p> <p>(2) 問題の直面化などを意識的に行い利用者の相互作用により解決していく場面を作る。</p> <p>4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。</p> <p>(1) 現在の健康状況を職員が把握し、家庭、PT、保健師、医療機関との連携を図り必要な援助を行っていく。</p> <p>(2) 家庭訪問、個人面談、日常の情報収集などで通所者や家庭の状況を把握し必要な援助を行っていく</p> <p>(3) モニタリングや、職員間の情報共有に力を入れる。</p> <p>5. 他の支援機関と協力し一般就労に向けて支援する。</p> <p>(1) 就労のための情報を利用者に周知する</p> <p>(2) トライアル雇用などの制度を積極的に利用する。</p>																											
事業内容	作業（労働）	<p>① 本館 喫茶班 利用者11名</p> <table border="1"> <tr> <td>喫茶収入</td> <td>29年度</td> <td>1,469,190円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30年度</td> <td>1,029,187円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年度比</td> <td>-440,003円↓</td> </tr> </table> <p>喫茶『たむろす』にお客さまが来ない日が続き、長年喫茶班に携わってきた職員の退職などもあり、大幅に売上が落ちた。ただただ新人職員に障害理解、仕事内容、法人理念、事業所理念等を教える事で一年が終わってしまい、利用者の方々には大変申し訳ないことをしてしまいました。</p> <p>外販では【たんぽぽ会】への月一販売を行なった。</p> <p>② 本館 廉價班 利用者11名</p> <table border="1"> <tr> <td>るーくる収入</td> <td>29年度</td> <td>4,728,380円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30年度</td> <td>4,807,057円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年度比</td> <td>+78,677円↑</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>地域夕食収入</td> <td>29年度</td> <td>1,738,400円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30年度</td> <td>1,767,550円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年度比</td> <td>+29,150円↑</td> </tr> </table>	喫茶収入	29年度	1,469,190円		30年度	1,029,187円		前年度比	-440,003円↓	るーくる収入	29年度	4,728,380円		30年度	4,807,057円		前年度比	+78,677円↑	地域夕食収入	29年度	1,738,400円		30年度	1,767,550円		前年度比	+29,150円↑
喫茶収入	29年度	1,469,190円																											
	30年度	1,029,187円																											
	前年度比	-440,003円↓																											
るーくる収入	29年度	4,728,380円																											
	30年度	4,807,057円																											
	前年度比	+78,677円↑																											
地域夕食収入	29年度	1,738,400円																											
	30年度	1,767,550円																											
	前年度比	+29,150円↑																											

厨房班は職員の大きな入れ替わりもなく、一年を通して支援内容、作業内容共に質を深める事ができた。新商品、『メンチカツパン』、『とりそぼろ弁当』等も人気商品となった。外販では【NEC】、【朝日航洋】を中心に行なった。

本館 裏方班

利用者6名

裏方収入 29年度 373,580円

30年度 248,227円

前年度比-125,353円↓

裏方班担当の職員不在で裏方班ではブラウニーケーキのみの生産で一年を終えてしまいました。自主製品の取組みまで行う事ができませんでした。

本館ドリーム第2 年間売上

29年度 8,314,550円

30年度 7,852,021円

-462,529円↓

③ 分室 リサイクルショップ営業

収入 29年度 1,227,088円

30年度 731,010円

前年度比 -496,078円↓

在庫管理、商品値付、接客、売上データ管理など、全てにおいて利用者が関わった。今年度より利用者主体の仕事ができるようになってきた。売上アップに繋がったのは、利用者の仕事への意識が上がった事だと感じました。

④ 分室 印刷業

収入 29年度 7,881,285円

30年度 6,409,375円

前年度比 -1,471,910円↓

仕事内容を減らしていく。

⑤ 分室 自主製品、請負作業

収入 29年度 482,181 円

30年度 501,598 円

前年度比 +19,417 円↑

今年度は利用者の仕事への意識も高まり、残業しても頑張りたいという声もあったので、売上がプラスになった。自主製品は作業的には平行線だったが、請負作業で『バスソルト』と29年度から始まった『電動自転車のタイヤ交換』の仕事に集中して取り組んだことも売上アップに繋がった。

分室リサイクル工房サラエ 年間売上

29年度 9,590,554 円

30年度 7,641,983 円

-1,948,571 円↓

本館分室30年度工賃支出

29年度 6,903,144 円

30年度 7,646,734 円

前年度比 +743,590 円↑

平均工賃

本館ドリーム第2

時給 100円~250円

分室リサイクル工房サラエ

時給 100円~250円

ボーナス(年末、年度末)

年末 1,000円~10,000円

年度末 3,000円~40,000円

平均工賃月額：18,772 円↑

	日課	① 各班毎に朝の会 ② 朝のラジオ体操 ③ 昼食後の歯磨き（全員） ④ 仕事終わりに全体での帰りの会(仕事の振り返り)
	文化的活動	① 創作活動（月1回） 美術作品の制作 かかし展に参加（9月 深川資料館通り展示） ② 作品展への出展 きょうされんグッズデザインコンクール 障害者作品展 東京都障害者スポーツ大会への参加 ③ 学習会 手話教室（毎月2回）希望者が参加
	自治活動	① リーダー会議 ② メンバー自治会の組織 ③ 「何でもやろうかい」の立案・実施 ④ 各種行事実行委員会 話し合いのスキルアップ、ルールの明確化
	その他	① 宿泊訓練（1泊2日） ② 希望者には送迎を実施 ③ 給食は実施しない（仕出し弁当を斡旋する）
健 康 管 理		年1回の健康診断を実施する（保健相談所にて） 城東保健相談所にて実施 歯科検診を行う 未実施
年 間 行 事	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	入所式、ゆめグループ全体会 メーデー、きょうされん東京大会 宿泊訓練旅行(群馬県) 花咲デモ こびあ祭り 何でもやろう会(八景島シーパラダイス) 暑気払い、第2回ゆめのつどい きょうされん全国大会(京都) ゆめ祭り 城東ふれあい祭り 江東区福祉大会、ゆめ G 望年会 日本のうたごえ祭典 障都連都民集会、成人・還暦祝い、餅つき 障害者スポーツフェスタ江東 ゆめグループ総括会議

その他	<p>① 福祉サービス第3者評価は受審している。</p> <p>② 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行った。</p> <p>③ 職員の指導力を高めるための研修を実施した。 社内研修、精神保健分野の保健センターでの研修の他、地域の研修会に随時参加。</p> <p>④ 希望に沿った形で、軽作業、食品の班に分け、作業意欲が向上しモチベーションを上げられるように支援した。</p> <p>⑤ 給料と評価基準の明確化を利用者が理解できる形で進めた。 評価会を行うことで、各自の頑張りや課題を確認し、仕事へのモチベーションにつなげていった。</p> <p>⑥ 利用者・職員に対するアンケートの実施</p> <p>⑦ 利用者・職員に対する経営状態の公開</p> <p>⑧ 相互の障害の理解のための語る会など実施</p> <p>⑨ 就労希望者には、情報提供や履歴書の書き方、面接に同行するなどの支援をおこなった。</p> <ul style="list-style-type: none">・就労支援センターからの求人情報を提供。・障害者雇用企業の説明会に参加。 <p>⑩ 分室の経営状況が上向きになってきた。</p> <p>⑪ 分室の移転を進めていく。</p> <p>⑫ 一年を通して職員不足が続いた。</p>
-----	---

平成30度事業報告

事業所名	生活寮ひだまり
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	江東区心身障害者生活寮運営費助成事業 定員4名：男性3名 女性1名
所在地	江東区東砂8-19-7
管理者	中村 幸江
職員体制	世話人 遠藤 亜希子 朝食賄い 山口 喜代美
事業報告	<p>4月 GH花見（仙台堀川公園）</p> <p>5月 食べ放題（錦糸町）</p> <p>8月 幸せの黄色いレシート活動 お誕生日会（稲葉）ひだまりで鉄板焼き</p> <p>9月 流しそうめん大会</p> <p>10月 お誕生日会（新妻）錦糸町で食事</p> <p>11月 東砂8丁目町会 ニコニコバス旅行（伊豆） 幸せの黄色いレシート活動</p> <p>12月 お誕生日会（秋山）トピレックでステーキ 大掃除 大晦日に年越しそば</p> <p>元旦 初詣、おせち&お雑煮</p> <p>2月 幸せの黄色いレシート活動</p> <p>3月 日帰り行事（豊洲市場＆チームラボ） GH花見（南砂公園）</p>
事業内容	<p>(1) 健康管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮した。 ・朝、血圧を計測し記録した。 ・必要のある方へ通院同行、入院時は洗濯物等の交換を行った。 ・各自、目標体重を定め、甘い飲み物を飲む日を週半分にした。 <p>(2) 健康に配慮した食事の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の身体の状況・希望や嗜好、栄養を考慮した食事を提供了。 <p>朝食は賄いが調理。夕食はドリーム第2の配食を配膳。土日の夕食はカロリーを控えた宅配弁当を提供した。</p> <p>GW、夏休み、年末年始も夕食を提供した。</p> <p>(3) 入浴、排せつ又は食事等の介助</p>

- ・必要な方には、入浴、排せつ、食事の介助を行った。

(4) 日中活動援助

- ・職場や、通所施設等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、利用者の活動を支援した。

(5) 余暇活動等の支援

- ・休日や余暇時間は外出支援（行楽、買物など）を支援した。

(6) 相談・助言

- ・共同生活が円滑にいくように助言および悩み事の相談等にのり、個々の生活、人間関係が安定するように支援した。

(7) 金銭管理の援助

- ・金銭管理が必要な方の通帳や現金を管理した。

(8) 行事

- ・年間計画を立て、誕生日会、季節の行事、旅行、食事会等を企画した。

長期の休みには、全員で外出プランを考えて出かけた。

(9) 防災訓練の実施

- ・町内会の防災訓練に参加した。
- ・非常用リュックの確認。賞味期限チェックを行った。

(10) その他

- ・寮生活が円滑に進むよう毎月、寮会議を行った。
- ・赤い羽根共同募金で冷蔵庫を購入した。冷凍庫の不具合があつたが安心して使用できるようになった（3割負担）

<転居・入居>

- ・なし

<寮費> 90,000 円/月

(内訳)	家賃	50,000 円
	食費	24,000 円
	光熱費	8,000 円
	消耗品	1,000 円
	行事費	2,000 円
	旅行積立	5,000 円

来年度の旅行で交通費を使えるるよう、今年度の宿泊旅行は企画しなかった。

平成30年度事業報告

事業所名	生活寮ひだまり第2
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会
事業の種類	江東区心身障害者生活寮運営費助成事業
所在地	江東区大島一25-5
利用定員	5名(在籍5名)
職員	3名(常勤)
管理者	柳 春夫
事業の目的	<p>基本方針 障がいのある人々が地域で自立した生活を送ることが出来るよう生活の場を確保・提供する。 提供された生活の場を活用し自立と社会参加に積極的に取り組めるよう支援する。 可能な限り個々のニーズにじた支援を適切かつ安全に行う。</p> <p>運営方針 (1) 利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。 (2) 利用者の身体及び精神の状況とその環境に応じて、日常生活に必要な援助を適切かつ効果的に行う。介助等支援にあたって安全・安心第一にこころがける。 (3) 地域社会との交流に努めるとともに、関連する障がい者団体との連携をはかる。</p>
事業内容と課題	<p>(1) 日常生活を円滑に送るための支援 利用者のニーズに応じて食事・排泄・入浴など必要な介助・支援を行う。特に生活全面の介助が必要な重度者の介助・支援は安全の確保に留意し入浴介助は2名で実施した。</p> <p>(2) 健康管理の支援 利用者の健康状態を把握し、必要な場合は通院に同行している。インフルエンザの感染時には規制できない利用者は自室待機で対応した。また理由のわからない「転倒」を起こした利用者の場合は家族と連携し通院し原因を特定し治療することができた。</p> <p>(3) 食事の提供 平日の夕食はドリーム第2の給食を利用している。朝食は泊まり明けの職員が「簡単」に作っている。休日の食事は各人がコンビニ等で購入している。栄養等の課題は残されている。</p> <p>(4) 日中活動の支援 一般企業に就職できた利用者の通勤にあたっての「身だしなみ」の援助をしている。ゆめグループ以外の事業所を利用している方については日中活動事業所と必要な連絡を取っているが、充分とは言えない。</p> <p>(5) 金銭管理の支援 金銭管理ができない利用者については保護者・成年後見人の依頼を受け毎月に一定額を預かり、決まった金額を手渡すようにしている。毎月に記録し保護者・成年後見人に報告している。</p> <p>(6) 行事・誕生会 利用者5人の誕生会を行っている。宿泊旅行も以前は行っていたが、他法人の日中活動を利用している方が多く(3人)、一緒の行動は難しくなり現在は取りくんでいない。」</p> <p>(7) 職員体制を保障するための工夫 3名の常勤体制で24時間「在勤」を実施している。江東区の運営助成金は740万円程度で必要な人件費には程遠い。そこで不足分は利用者Tさんの介護保険(要介護5)のヘルパー派遣(身体介護)にひだまり2職員を登録してヘルパー報酬を受けている。同様に障害福祉の重度訪問介護のヘルパーとして登録しヘルパー報酬を受けている。こうして3人の人件費を捻出しているが、それでも法人からの補充は50万円程度必要になっている。(職員3人は介護保険の事業者と雇用契約を結んでいる)</p> <p>(8) 総合支援法事業への移行について 法人として車椅子に対応できるグループホームの設置は重点的な課題に位置付かれている。現在の施設・敷地での改築、法内施設への移行はできな</p>

いので、新たな事業所の開設と併せた形で検討されている。30年度は対象物件の動きはなく具体的な進展はなかった。江東区からは毎年「移行」についての調査があるが「移行の意思はあるが計画は進展していない」とこと、「資金確保は非常に大変なので区の支援をお願いしたい」と回答した。なお、グループホームへの報酬単価が厳しくなっている現状で区事業はいくつかのメリットを持っている。法内施設へのい移行にあたっては、その形態等を充分検討することが重要と思う。

ひだまり第3、第4 平成30年度事業報告

事業所名	主たる事業所	ひだまり第3			
	従たる事業所	ひだまり第4			
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会				
事業の種類・定員	共同生活援助(外部サービス利用型) 2019年3月31日現在 ひだまり第3 定員:5名(現員男性5名) 常勤1名 兼任1名 知:3名 身:1名 身知:1名 平均年齢 57.6歳 ひだまり第4 定員:5名(現員男性5名) 常勤1名 パート1名 知:4名 身知:1名 平均年齢 35.8歳				
所在地	ひだまり第3:江東区大島3-25-5 ひだまり第4:江東区東砂3-7-11				
管理者	田中 直樹	サービス管理責任者	藤森 幹朗		
事業の目的	障がいのある人たちが、地域で自立した生活ができるよう 生活の場のと支援の体制を確保する。自立した生活と社会 参加を実現できるよう、個々のニーズに応じた支援を提供する。				
運営方針	①利用者の意志および人格を尊重し、プライバシーを守る。 ②利用者相互の共同協力を重視し、楽しく規律ある生活を 送れるよう配慮し支援する。 ③心身の健康管理に留意する。 ④必要な介助体制を確保するために、外部サービスも利用 する。(必要な手続きを進める)				
事業の内容	ひだまり第3 ①利用者の健康に配慮した食事を提供する。 ・朝食は世話人が前日に準備したり、買い物の出来る利用者には金銭を渡して補っている。 夕食についてはグループ内の作業所より夕食を注文している。 年齢的に摂食量が減った利用者に分量を配慮して注文したりしている。土曜日、日曜日の昼食は希望に応じて配食サービスから頼むことが可能。 ②健康管理に配慮する。 ・健康診断は職員を含め必要な者全員が受診している。 ・高齢化もあって通院する利用者が増えている。通院には移動支援(区事業)が原則利用できないが、臨機応変に対応している。 ・日中活動の学校のプール開放事業で、利用者の胸部の腫れに気が付き、医療につなげて手術を施し、幸い大事に至らなかった。 ③入浴、排せつ、部屋の整理、洗濯等を支援する。 ・入浴方法にこだわりを持った発達障害の利用者への対応で、世話人の負担が多くなっている。 ・利用者の洗濯物をすべて世話人が洗濯機で洗濯していたが、自分で洗濯が出来る利用者さんは、自分で出来るよう体制に年度後半から変更した。 ④余暇活動の支援 ・8月に長野県原村へ日帰り旅行、他に浦安にある温泉施設を利用して利用者の誕生会を行った。また、ひだまり第4主催の屋形船にも参加した。 ⑤金銭管理の援助 ・買い物等の支援を行った。 ・利用者1名、金銭管理を行った。 ・成年後見制度を利用している利用者が2名おり、後見人、補佐人の依頼で一部金銭を預かって管理している。 ⑥日常生活の問題や将来のことなど相談・助言する ・ほとんど取り組めなかつた。日中活動事業所に頼っていた。				

事業の内容	<p>⑦家族と交流 ・できなかった。</p> <p>⑧利用者の入退所 来年度 他県に引っ越しが決定している利用者が1名おり、 新年度早々、減員1名になり、新規利用者の募集を始めている。</p>
	<p style="text-align: center;">ひだまり第4 2015年10月よりサービス開始</p> <p>①利用者の健康に配慮した食事を提供する。 ・料理担当職員(パート)を朝、夜と配置。栄養面を考えた食事を平日のみ提供。</p>
	<p>②健康管理に配慮する。 ・健康診断は職員を含め必要な者全員が受診している。 ・通院に支援を必要としている利用者に関しては、世話人や通院同行で対応している。</p>
	<p>③入浴、排せつ、部屋の整理、洗濯等を支援する。 ・入浴介助が必要な利用者については男性職員が対応。 ・部屋の掃除が一人では困難な方は職員と一緒に行った。</p>
	<p>④余暇活動の支援 ・30年度海外旅行を計画していましたが、未実施になってしまい、入居者の方々には本当に申し訳ないことをしました。 ・誕生日会を行なった。</p>
	<p>⑤金銭管理の援助 ・入居者2名金銭管理。 ・入居者3名一部金銭管理。 ・買い物の支援も行った。 ⑥日常生活の問題や将来のことなど相談・助言する ・寮会議の定期的な実施ができなかった。要検討事項。</p>
	<p>⑦家族と交流 ・未実施</p>
	<p>⑧利用者の入退所</p>
	<p>緊急時の対応</p>
防災訓練	<p>・要検討中</p> <p>ひだまり第3は火災報知機を設置した。 ひだまり第4は防災・避難訓練は2月に火災、3月に震災を想定して行なった。消防点検は可だった。</p>
その他	<p>・寮会議(利用者・職員)を月に1回、定期的に行った。 ・高齢化が進んでいるひだまり第3の入居者より夜間の職員体制の希望有り。対応を検討。</p>

平成 30 年度事業報告

丸山ハイツ

事業所名	丸山ハイツ
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	共同生活援助
所在地	1) 丸山ハイツ：東京都江東区亀戸4-21-6 2) 東砂ハウス：東京都江東区東砂6-20-7
管理者	岡田 芳久
事業の目的	精神障害者の地域生活における生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進することを目的とする。
事業の内容	<p>生活訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活のリズムの調整。 ② 洗顔、歯磨き、入浴、着替え、洗濯の指導。 ③ 炊事や栄養面での助言。 ④ 服薬の声掛け、薬の飲み方の助言。 ⑤ 各居室のそうじ、整理整頓の指導。 ⑥ ゴミ出しやトイレ、浴室のそうじなど、当番の声掛け。 ⑦ 金銭管理の指導。 ⑧ 共有スペースなどの利用ルールの順守 <p>日中活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日中活動として利用している関係機関との連携。 ② まだ日中活動の場を持たないひとには、通所施設の紹介、見学同行。 <p>相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 計画相談支援利用の手続き支援や、セルフプラン作成。 ② 状態悪化時や、不安時の相談。 ③ GHでの人間関係の調整や、家族関係の調整。 ④ 利用者が抱えるさまざまな思いへの寄り添い。 ⑤ 夜間などの電話相談。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 夕食の提供。(月から金) ② 必要に応じて、通院の介助。 ③ 障害年金など、様々な手続きの助言、および関係機関への同行。

健康管理	年1回の健康診断を実施する（保健所で実施） 顧問医との面談を定期的に実施する。
年間行事	4月 入所式（ゆめグループ） 6月 宿泊訓練（ゆめグループ） 8月 江東花火大会（東砂ハウス） 暑気払い（丸山ハイツ・東砂ハウス） 12月 クリスマス会（丸山ハイツ・東砂ハウス） 忘年会（丸山ハイツ・東砂ハウス） 望年会（ゆめグループ） 3月 花見（グループホーム合同）
その他	① 個別支援計画の作成のため、利用者や保護者、関係機関との話し合いを定期的に行なう。 ② 職員の指導力を高めるための研修を実施。発達障害に関する研修など ③ 寮費（食費、日用品費、光熱費）の内訳、および返金の内訳を利用者が理解出来る形で明確化。 ④ 毎月寮会議を実施し、利用者同士の交流や行事の企画などを行なう。 ⑤ 防災訓練を実施。 ⑥ 新任職員の研修に力を入れる。
課題	① 各部屋の空き期間をできるだけへらす ② 発達障害、知的障害との重複障害の対応 ③ 日中活動の利用が本人の目標通り進んでいない。

平成30年度事業報告

事業所名	いぶき寮
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	共同生活援助（介護サービス包括型）
所在地	東京都江東区枝川1-8-15-714、904
管理者	安部 慎太郎
事業の目的	<p>基本方針 知的障害を持つ人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。</p> <p>運営方針 (1) 利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。 (2) 利用者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、共同生活住居において、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。 (3) 地域社会との交流につとめ、関連する障害者団体との連携をはかる。</p>
事業内容	<p>利用者：現員5名（男性3名・女性2名）／定員5名 職員：管理者1名、常勤1名、非常勤2名（週2回、週3回）</p> <p>(1) 健康管理の援助 ・利用者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮する。 ・必要がある場合は、医療機関への通院の支援を行う。 ⇒必要に応じて、ヘルパーも利用し通院同行をした ⇒糖尿病プログラム入院の補助を行った</p> <p>(2) 利用者の健康に配慮した食事の提供 ・栄養・利用者の身体の状況・希望や嗜好を考慮した食事の提供を行う。 ⇒過食にならないように献立を考え、土・日の食事提供もスタートした</p> <p>(3) 入浴、排せつ又は食事等の介護 ・利用者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介護を行う。 ⇒行った</p> <p>(4) 日中活動援助 ・日中、職場へ通勤する場合や、通所の施設、デイサービス等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、利用者の活動を支援する。 ⇒通所施設の保護者会や行事に参加した</p> <p>(5) 余暇活動等の支援</p>

	<ul style="list-style-type: none">・休日や余暇時間には利用者のニーズに沿った外出支援、趣味活動支援を行う。⇒行った
	<ul style="list-style-type: none">(6) 相談・助言<ul style="list-style-type: none">・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応して、相談の場を設け助言を行う。⇒行った
	<ul style="list-style-type: none">(7) 金銭管理の援助<ul style="list-style-type: none">・自立生活に向けて金銭管理が自分でできるように支援する。 ⇒土・日の小遣いなど適切にお金が使えるように、職員と計画を立てるなど訓練した
	<ul style="list-style-type: none">(8) 家族との交流<ul style="list-style-type: none">・利用者と家族間の連絡調整を行う。⇒必要に応じて連絡を取った
	<ul style="list-style-type: none">(9) 行事<ul style="list-style-type: none">・利用者のニーズに応じて、外食、旅行、視察・見学会等の行事を実施する。⇒利用者の誕生日会を実施した
	<ul style="list-style-type: none">(10) 緊急時の対応<ul style="list-style-type: none">・利用者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療機関等への連絡を行う等の、必要な措置をとる。 ⇒必要な処置をとった・利用者に事故等が発生した場合には、直ちに利用者にかかる障害福祉サービス事業者等に連絡するとともに、必要な措置をとる。 ⇒大きな事故なく過ごすことができた
	<ul style="list-style-type: none">(11) 防災訓練の実施<ul style="list-style-type: none">・年2回防災・避難訓練を実施する。⇒実施した

(参考様式)

事業実績書

(施設名) (サービス種別)	事業期間	区分	訓練状況												行事の実績	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
(施設名) ゆめ工房	平成30年4月 ~ 平成31年3月 就労継続支援B型	開所日数A	20	21	21	19	18	22	21	20	19	19	20	241	20	・入所式 ・何でもやろう会 ・全体会 ・メーデー ・創作教室 ・宿泊訓練 ・障害者福祉大会 ・ゆめまつり ・新年会 ・成人還暦祝い ・障害者作品展
		利用者延人員B	387	381	378	402	299	328	408	401	370	342	337	361	4,394	366.2
		1日平均利用人員B/A	19.4	18.1	18.0	19.1	15.7	18.2	18.5	19.1	18.5	18	17.7	18.1	218.4	18.3
		月初日在籍者数C	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	396	33
(施設名) ゆめ工房北砂	平成30年4月 ~ 平成31年3月 就労継続支援B型	開所日数A	21	21	24	23	19	20	23	23	21	19	18	22	254	21.2
		利用者延人員B	412	436	443	461	339	385	456	427	396	379	325	429	4888	407.3
		1日平均利用人員B/A	19.6	20.8	18.5	20	17.8	19.3	19.8	18.6	18.9	19.9	18.1	19.5	230.8	19.2
		月初日在籍者数C	25	24	24	24	24	24	25	24	24	24	24	24	290	24.2

事業実績書

(施設名) (サービス種別)	事業期間区分	訓練状況												行事の実績	
		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(施設名) ネットワークゆめ工房	平成30年4月 ～ 平成31年3月	開所日数A	20	21	21	18	20	22	21	20	19	19	20	242	20.2
		利用者延人員B	160	158	151	152	140	167	168	148	130	134	154	1791	149.3
		1日平均利用人員B/A	8	7.5	7.2	7.2	7	7.6	8	7.4	6.8	7.1	7.7	88.7	7.4
		月初日在籍者数C	12	12	10	10	11	10	10	10	10	10	10	125	10.4
(施設名) ネットワークゆめ工房	平成30年4月 ～ 平成31年3月	開所日数A	20	21	21	18	20	22	21	20	19	19	20	242	20.2
		利用者延人員B	126	139	123	145	111	102	137	124	119	109	111	1462	121.8
		1日平均利用人員B/A	6.3	6.6	5.9	6.9	6.2	5.1	6.2	5.9	6	5.7	5.8	72.4	6
		月初日在籍者数C	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120	10

（ホーリーク）に
片岡さん入所（ホーリーク）
5月 1日誕生日メーテー参加
6月 7～8日旅行①白樺湖
13日花火大会参加
7月 駿府修学旅行（休止）
21日江東特例支援学校（以下特文
と称す）遠乗り参加（休止） 27
日蓬莱特支援ブール開放（休止）
8月 2日なんでもやろう会（スカ
イツリー） 3日江東特支援ブール開
放（休止） 12～15日夏休み
～25日研修旅行②（左手・七時
間） 9月 21～22日さくらん企画
大会（JR線・代苯参加）
10月 13日はめざつり（15日休
止） 20日亞東特支援店（22日休
止） 22日赤い羽根共通募金（京
急町） 11月 江東区健康運動大企
4
12月 江東区健康運動大企
（駒込クラブ中心に初苗参加）
1月 4日新年販賣会（駒込・江東
区総合企画課） 22日企
業説明会（駒込・江東区総合企
画課） 23～1月3日
冬休み
1月 4日新年販賣会（駒込・江東
区総合企画課） 22日企
業説明会（駒込・江東区総合企
画課） 23～1月3日
冬休み
2月 6～8日販賣会品出し、
島さん懇親会 15日誕生日
もちつき 10日恒定定期の
3月 12日向こもやう会（ど
り2、ふれあい、サラエ旅団）
22日企画会（30年度反省会）

(参考様式)

事業実績書

(施設名) (サービス種別)	事業期間	区分	訓練状況												行事の実績		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均	
(施設名) ふれあい工房	平成30年4月 ~ 平成31年3月	開所日数A	20	20	23	21	18	20	22	20	20	18	19	22	243	20.3	なんでもやろう会 特別支援学校夏まつり秋まつり ゆめ雪者福祉大会 障雪者作品展 宿泊訓練 成人・還暦のお祝い
		利用者延人員B	295	271	319	303	226	290	321	294	294	250	283	311	3457	288.1	
		1日平均利用人員B/A	14.8	13.6	13.9	14.4	12.6	14.5	14.6	14.7	14.7	13.9	14.9	14.1	170.7	14.2	
		月初日在籍者数C	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264	22	
(施設名) 就労継続支援B型	平成30年4月 ~ 平成31年3月	開所日数A	21	21	23	21	20	19	23	22	20	19	19	20	248	20.7	なんでもやろう会 宿泊研修 ゆめ祉大会 成人・還暦祝い 年度末全体会議
		利用者延人員B	128	128	118	129	102	93	144	145	146	125	131	137	1526	127.2	
		1日平均利用人員B/A	6.1	6.1	5.1	6.1	5.1	4.9	6.3	6.6	7.3	6.6	6.9	7.4	6.2		
		月初日在籍者数C	19	19	20	20	21	20	22	22	21	21	20	20	245	20.4	

事業実績書

(施設名) (サービス種別)	事業期間 区分	訓練状況												行事の実績			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均		
ドリーム第2就労継続支援B型	平成30年4月～平成31年3月	開所日数A	20	22	22	19	18	22	22	20	20	19	19	245	20.4	・何でもやろう会	
		利用者延人員B	433	500	483	475	378	413	472	450	447	407	444	490	5392	449.3	・入所式 ・研修旅行 ・暑気払い ・ゆめまつり
		1日平均利用人員B/A	21.7	22.7	22	21.6	19.9	22.9	21.5	20.5	22.4	20.4	23.4	25.8	264.8	22.1	・福祉大会 ・望年会 ・成人遠賀 ・餅つき
		月初日在籍者数C	27	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	335	27.9		
ドリーム第2分室 (リサイクル工房サラエ)	平成30年4月～平成31年3月	開所日数A	21	21	20	20	19	22	22	20	20	19	20	244	20.3	・何でもやろう会	
		利用者延人員B	117	140	135	142	118	117	147	144	130	134	137	152	1613	134.4	・入所式 ・研修旅行 ・暑気払い ・ゆめまつり
		1日平均利用人員B/A	5.6	6.7	6.8	7.1	5.9	6.2	6.7	6.5	6.5	6.7	7.2	7.6	79.5	6.6	・福祉大会 ・望年会 ・成人遠賀 ・餅つき
		月初日在籍者数C	11	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	145	12.1		

平成30年度	ゆめ相談支援センター計画相談支援実施状況												2019年	
	2018年													
件数	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用支援 (計画書提出)		3	6	14	1	6	6	6	5	3	2	3	3	58
継続支援 (王ニタリング)		1	9	5	11	4	6	4	3	15	6	6	5	75
合計		4	15	19	12	10	12	10	8	18	8	9	8	133
平成30年度 地域交流支援センター実施状況														
重度訪問介護	150	155	155	161	159	155	159	78	116	159	145	145	162	1754
居宅介護	51	51	52	51	47	50	54	49	47	53	54	53	53	612
同行援護	4	4	3	3	4	4	4	5	4	4	4	4	3	45
移動支援	31	33	21	29	33	36	44	41	37	26	35	42	42	408

